

食欲・食嗜好の分子・神経基盤研究会（食欲・食嗜好研究会）

2017年6月10日－6月11日

代表・世話人：佐々木努（群馬大学生体調節研究所）

所内対応者：箕越靖彦（生殖・内分泌系発達機構研究部門）

- (1) 受容体型プロテインチロシンホスファターゼによる摂食制御
新谷 隆史（基礎生物学研究所）
- (2) 視床下部における新しいレプチン感受性変容機序の解明
金子 賢太郎（京都大学）
- (3) CRH ニューロンの上流の神経細胞の解析
近藤 邦生（生理学研究所）
- (4) 餌の視覚的認識から摂食行動へ至る神経回路
武藤 彩（遺伝学研究所）
- (5) 食嗜好の学習と嗅覚
山口 正洋（高知大学）
- (6) 食品情報処理における感覚間相互作用-ヒト心理・生理学的研究
岡本 雅子（東京大学）
- (7) 混合味溶液の識別と嗜好性
片川 吉尚（朝日大学）
- (8) AgRP 神経による味覚感受性の調節
傅 欧（東京大学）
- (9) キイロシヨウジョウバエを用いた、味覚系と摂食／報酬系をつなぐ神経回路の同定
宮崎 隆明（遺伝学研究所）
- (10) 味と匂いの学習における連合構造の行動学的検討
大沼 卓也（東北大学）
- (11) 嗅皮質による摂食行動制御の神経メカニズム
村田 航志（福井大学）
- (12) オレキシンの摂食促進作用とその神経回路
楠本-吉田 郁恵（鹿児島大学）
- (13) エストロゲンによる摂食抑制とオレキシン
鷹股 亮（奈良女子大学）
- (14) オピオイド受容体-GABA 神経による摂食調節
米持 奈央美（星薬科大学）
- (15) 視床下部室傍核 CRF ニューロンを脳内投射部位によりタイプ分けしその機能を調べる
堀尾 修平（徳島大学）
- (16) ストレスと過食
松村 成暢（京都大学）
- (17) 新規視床下部分泌性小タンパク質 NPGL はマウスにおいてエネルギーホメオスタシスに關与する
齋藤 鷹也（広島大学）
- (18) 食性変化と消化管
石塚 典子（静岡県立大学）

- (19) 摂食と生殖を制御するエネルギーセンサーとしての後脳上衣細胞の役割
美辺 詩織 (東京大学)
- (20) カルシウムによる食欲抑制
小笠原 奨之 (北海道大学)
- (21) 摂食リズムとギャップ結合
佐々木 努 (群馬大学)
- (22) Estradiol の食欲調節メカニズムにおける中枢時計の関与
西村 友里 (奈良女子大学)
- (23) 味覚と嗅覚の連合学習が日内摂食パターンに及ぼす影響に関する行動学的検討
八十島 安伸 (大阪大学)
- (24) 老化依存的味受容機構変化の検証
成川 真隆 (東京大学)
- (25) 希少糖 Allulose の GLP-1・求心性迷走神経を介した摂食抑制
岩崎 有作 (自治医科大学)
- (26) SIRT1 とシヨ糖嗜好性
松居 翔 (群馬大学)

ウェブサイト：<http://www.nips.ac.jp/paf/NIPSkennyukai2017.html>